NHO NEW WAVE

vol.50 2023

独立行政法人
国立病院機構
National Hospital Organization

初期研修医・専攻医のためのコミュニケーション情報誌
NHO ニューウェーブ

発行：独立行政法人 国立病院機構 令和５年

PROGRAM
専門研修プログラムの紹介
精神科
国立病院機構 琉球病院

PROGRAM
初期研修プログラムの紹介
国立病院機構 高知病院

PROGRAM
専門研修プログラムの紹介
小児科
国立病院機構 長崎医療センター

HOSPITAL
病院クローズアップ
国立病院機構 長良医療センター

RESEARCH
NHO × 専攻医・研修医アンケート

Pick Up TOPICS
医師の働き方改革

REPORT
若手医師フォーラム

PROGRAM

初期研修プログラムの紹介

国立病院機構 高知病院

経験数を十分得ることができ、かつじっくり、しっかり学べる研修環境

高知病院 臨床研究部長 **竹内 栄治**

高知病院の初期臨床研修について

当院は、病床数424床（うち重症心身障害120床・結核22床）、診療科26を有し、二次救急病院として年1500件以上の救急搬送を受け入れるなど、高知市における地域医療の一翼を担っている基幹病院です。

高知県がん診療連携推進病院としてがん診療に積極的に取り組み、そのほか「呼吸器センター」での内科・外科の垣根を越えた総合的な呼吸器疾患治療や、骨・運動器、腎疾患、成育、感染・免疫アレルギー、そしてセーフティーネット分野である重度心身障害医療や結核医療に関する専門性の高い医療を提供しています。また、高知県災害拠点病院、高知DMAT指定病院としての役割を担っていることも特徴です。

研修医の定員は１学年５名と少人数制であり、一人あたりの担当症例数、手技経験数を十分得ることができ、確かなプライマリ・ケア能力を獲得することができます。さらに、院内外の勉強会や学会発表への参加も積極的に奨励しており、アカデミックな力も養うことができます。

各診療科間の垣根が低く、他科への相談がしやすいですし、三次救急病院と比較してゆっくりとした環境であるため、一つひとつの症例をじっくり学ぶことができます。当直は月に４回ほどですが、自分で回数や当直日を調節できることも魅力でしょう。

プログラムの特徴について

垣根の低い各診療科間の横のつながりを活かしたプライマリ・ケア重視の研修プログラムとなっています。さらに、全国のNHOネットワークによる特色あるNHO病院での研修ができることも特徴です。

高次救急については、災害医療センター、京都医療センター、呉医療センター、高知医療センター、近森病院、高知赤十字病院で、腫瘍学については四国がんセンターで、先天性疾患等に関しては四国こどもとおとなの医療センターにて、それぞれ研修が可能です。精神科医療については、協力病院である高知鏡川病院や細木病院で学びます。

PROFILE

出身地：徳島県
出身大学：徳島大学（1989年卒）
宝物：家族と先輩・後輩
座右の銘：人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方、仇は敵なり

選択肢が多彩であり、一人ひとりの希望に応じた研修が可能となっています。

読者へのメッセージ

みなさんが積極的にチャレンジできる研修環境を用意しています。医師として成長するために“経験”に勝るものはありません。特に初期研修の２年間をどのように過ごすかは、その後の医師人生を決めるといっていいほど非常に重要であり、積極的にいろんなことを経験してほしいと思います。失敗も経験するでしょうが、それらは全て将来の大きな糧となるはずです。

当院は豊富な症例数を有しており、かつ、一つひとつの症例をじっくり、しっかりと勉強することができます。ワークライフバランスに優れた病院であることも特徴ですし、高知は自然がきれいで、お酒も魚も美味しく、生活面においても抜群の環境です。当院でなら楽しく充実した研修医生活を送ることができるでしょう。

VOICE × 初期研修医

豊富な実践経験で確かな手技力を習得

初期研修医 ２年目 **吉田 晃弥**

外科専門医に必要な手術経験数は初期研修期間の経験数も加算されるため、当院の“経験”できる環境は外科志望の私にとって最良の研修環境です。上の先生方の手厚いフォローのなか、実際に執刀や縫合をさせていただいたり、腹腔鏡のオペではカメラの持ち方を学んだりと、手術経験数は同年代のなかでも多いと思います。コメディカルの方にも相談しやすく、雰囲気の良さも抜群。ぜひ一度、病院見学に来てください。

PROFILE

出身地：京都府
出身大学：高知大学（2021年卒）
宝物：家族や友人
座右の銘：人生とは選択の総和である

自由度が高い研修で選択肢も多彩

初期研修医 ２年目 **伊藤 一輝**

６年次のポリクリで当院を訪れた際、スタッフのみなさんが非常に優しく、雰囲気が抜群に良かったことから迷いなく当院を研修先に選びました。研修は自由度が高く、肺がん治療に興味があったため、NHOグループの「四国がんセンター」で経験させていただくなど希望に沿った研修ができます。幅広い症例経験ができ、協力病院やNHOグループでの研修など選択肢も多彩ですので、将来の進路が決まっていない人にもおススメです。

PROFILE

出身地：愛媛県
出身大学：高知大学（2021年卒）
宝物：両親
座右の銘：雨垂れ石を穿つ

国立病院機構
高知病院

住所 〒780-8507
高知県高知市朝倉西町 1-2-25
WEB https://kochi.hosp.go.jp

病床数 **424**床 診療科数 **26**科

高知病院の特徴

高知病院は国の政策医療を担っており、免疫アレルギー、がん、呼吸器、腎、成育などについて、それぞれ特徴ある医療を行っています。さらに、26診療科を有する基幹病院として、これらの政策医療を推進するのみならず、一般診療においても充実した機能を有し高知市における地域医療の一翼を担っています。

専門研修プログラム
精神科

国立病院機構 琉球病院

高度な各種精神科専門医療と救急を通して幅広い実力を獲得

琉球病院 院長 **福治 康秀**

琉球病院の精神科専門研修プログラムについて

琉球病院は、精神289床、医療観察法37床、そして沖縄県唯一の強度行動障害の重度心身障害児・者病床90床の計416床を有する精神科単科病院です。2019年にはスーパー救急病棟が稼働。救急医療・精神科専門医療・地域精神医療に積極的に取り組んでおり、さらに2021年11月にはコロナ病棟を開設するなど、沖縄県の精神科領域における重要な役割を担っています。

当院を基幹病院とする本プログラムは、幅広い精神科医療・司法精神医療を経験できることが特徴。精神保健指定医取得のための症例や、他では体験できない症例経験を積む機会も豊富にあります。

琉球病院の研修環境について

各種精神科専門医療を推し進めており、治療抵抗性精神疾患治療においては難治性統合失調症に対して全国で２番目に多い治療数を誇る「クロザピン治療」や、重症の統合失調症・躁病・うつ病を対象とした「修正型電気けいれん療法(m-ECT)」を実施しています。

医療観察法病棟も有しており、精神鑑定も含め司法精神医療も学ぶことができ、さらに沖縄県の「子どもの心の診療ネットワーク事業」の拠点病院として児童・思春期精神医療や、認知症の専門医療など各ライフステージに合わせた専門診療も経験できます。

依存症診療では、アルコールや薬物はもちろん、ネット、ギャンブル、ゲーム依存症と幅広く対応。地域精神医療も展開し、訪問看護や地域の関係機関と協働しながら患者さんやご家族を支えています。加えて精神科救急基幹病院として多くの救急患者を受け入れていることも大きな特徴です。また、DPAT(災害派遣精神医療チーム)にも取り組んでおり、沖縄県の先遣隊の指名も受けています。

当院には「臨床研究部」も設置されており、大学や研究機関と連携しながら研究や治験にも力を入れています。

スーパー救急病棟でのカンファレンスやプレゼンテーション、NHOの複数施設が参加するテレビ会議システムによる精神医学講義を毎週開催するなど症例検討会や勉強会も豊富。指導・バックアップ体制も充実しており、安心して積極的に症例経験ができる環境にあります。

当院には九州大学や琉球大学に所属する医師も研鑽を積んでいますし、NHOの連携プログラムによるローテーションの受け入れなど人材交流のハブ拠点であることも魅力でしょう。さらにNHOの精神科レジデントフォーラムで全国のNHOの医師たちと繋がりを築くこともできます。

また、男性医師も積極的に育児休暇を取得するなど働きやすい環境も整備されています。

初期研修医のみなさんへメッセージ

精神疾患は解明されていない部分も多く、興味が尽きることはありません。また、ニーズも非常に高く、やりがいも大きい診療科です。

精神科医にとって大切なスキルは、相手の心情に寄り添い、かつエビデンスに基づいた治療を実践できること。幅広い専門診療を豊富に経験できる当院でなら、精神科医として大切なスキルはもちろん、どのような場所でも活躍できる実力を獲得できるはず。そして精神科医としてのやりがいや楽しさも感じていただくことができるでしょう。

PROFILE

出身地：沖縄県那覇市首里
出身大学：琉球大学
宝物：人々とのつながり
座右の銘：あるがままで目的本位に行動する・さっと手を出す すっと動く・目標は高く実践は小刻みに・初心忘るべからず

VOICE × 専攻医

質の高い幅広い専門医療だけではなく精神科医としての面白さ、楽しさも経験

精神科専攻医 **岡 桜子**

私は九州大学の精神科に所属していますが、琉球病院の専門研修プログラムを希望し、2023年度から当院で研鑽を積んでいます。

琉球病院には全国的にも有名なクロザピン治療の専門病棟や、医療観察法病棟、依存症病棟があり、さらに救急にも力を入れているため、専門性の高い幅広い精神科医療を経験できることが特徴。クロザピン病棟では長期入院だった方の症状が改善し、地域社会に戻っていく姿を多く見ることができます。その光景は大きな感動ですし、やりがいにもなっています。

また、本土出身の私にとっては初めて知るような沖縄独自の風土や信仰が精神科医療に密接に関わってきます。新たな経験や学びを得られることも特徴です。医局がとてもアットホームな雰囲気で指導医の先生方にも相談しやすいですし、コメディカルとの距離も非常に近く、いつも助けていただいています。オン・オフも明確で働きやすい環境も当院の大きな魅力です。

精神科は最も人と向き合う科。幅広い精神科専門医療を提供している当院では毎日さまざまな患者さんと出会うことができ、その分やりがいも数多く感じることができます。精神科の面白さ、そして沖縄の風土・文化も楽しみながら精神科医として着実に成長できる病院です。

PROFILE

出身地：福岡県
出身大学：神戸大学(2020年卒)
宝物：人との出会い
座右の銘：日日是好日

国立病院機構
琉球病院

住所 〒904-1201
沖縄県国頭郡金武町字金武 7958-1
WEB https://ryukyu.hosp.go.jp

病床数 **416**床　診療科数 **7**科

琉球病院の特徴

沖縄初の精神科病院・琉球病院は、70年の歴史を持ち、精神科救急、災害対策等の幅広い精神医療を提供。人材育成にも力を入れ、医学生から専門医までの研修・実習を行っています。また、多種多様な臨床研究を推進。建物も新しく、より良い医療を提供するための取り組みを続けています。

専門研修プログラム 小児科

国立病院機構 長崎医療センター

救急医療や急性疾患の管理も経験 小児の“総合力”を獲得できます

長崎医療センター 小児科 統括診療部長 **本村 秀樹**

長崎医療センターの小児科専門研修プログラムについて

当院は病床数643床、37の診療科を有する地域中核病院であり、色々な病気のこどもたちが集まってきます。へき地・離島における医療支援も担っており、幅広い臨床力を有した離島医師の育成にも注力しています。小児科においても同様の役割を担っており、当院の小児科専門研修プログラムでは高い“総合力”を身につけられることが特徴です。

３年間の研修期間のうち、半年～２年間は当院において新生児から思春期まで小児医療全般を研鑽します。３か月間以上は対馬病院、上五島病院、五島中央病院、壱岐病院、上対馬病院などで離島医療を経験するようにプログラムされています。なお、当院では治療を行っていない血液・腫瘍疾患の研修は、長崎大学病院にて行います。また、学会、講習会、研修会への積極的な参加も推奨しており、参加費用などのサポートもしています。

長崎医療センターの研修環境について

当院は長崎県の「総合周産期母子医療センター」に認定されており、早産児・新生児に関して高度な専門医療を展開していることが特徴です。また、高度救命救急センターを備えた三次救急施設であり、2022年度の小児科急患数は2502人、うち入院数は551人です。救急車対応は救急科の医師と共同で治療にあたるなどバックアップもしっかしていますし、重症なこどもたちの全身管理も十二分に学ぶことができます。

当院は「てんかん診療拠点病院」であり、てんかん手術のため全国から患者さんが集まってきます。小児循環器においても心臓カテーテル検査を行っており、心臓病のこどもは胎児期から関わっています。こどもの病気は他科にまたがることも多いですが、各診療科の医師にも相談しやすく、診療で困った際には小児科全員で相談・解決を図り、総力を挙げて診療にあたっています。診療体制はチーム制を敷いているためオン・オフがはっきりしており、各先生方のライフスタイルに合わせた働き方、キャリア形成にも注力しているなど、“働きやすさ”も大きな魅力と思います。

初期研修医のみなさんへメッセージ

日本は少子化にありますが、医療を必要とするこどもたちがいなくなることはありません。未来の日本を担う大切なこどもたちの命を守る小児科医の役割は重要だと思います。また、日々の診療のなかでこどもたちの成長をみることができるなど、喜びも大きい診療科です。こどもが笑ってくれるとみんながハッピーになれますし、私たちも元気をもらうことができます。こどもの笑顔は周りが笑っていないと生まれません。小児科は笑顔が大切な診療科であり、笑顔が生まれる職場環境はやりがいや働きやすさにも通じます。小児科に少しでも興味のある方、私たちと一緒にこどもたちの笑顔を守るために楽しく働きませんか。

PROFILE

出身地：福岡県
出身大学：長崎大学（1992年卒）
宝物：秘密（言葉にすると宝物ではなくなるので）
座右の銘：関わった子どもたちは全て幸せに

VOICE × 専攻医

“主体的に考える診療”で確かな臨床力を獲得

三次救急病院であり、離島医療も経験できることが特徴。現在はNICUをローテーションしていますが、上の先生方の充実したバックアップ体制のなか、“主体的に考える診療”ができるため確かな臨床力を獲得できます。小児科は、こどもが笑顔になると自分も笑顔でいられる楽しい仕事。一緒に楽しく小児科医を目指しませんか。

佐藤 美悠

PROFILE

出身地：岡山県
出身大学：徳島大学（2021年卒）
宝物：家族と友人
座右の銘：stay hungry, stay foolish

積極的に経験できる手厚い指導体制

離島プログラムがあるなど、小児科医としての高い総合力を修得できることが特徴であり、安心して積極的に臨床経験ができる手厚い指導体制も魅力。わからないことがあれば直ぐに聞くことができ、疑問はその場で解決することができるなど着実にスキルアップできる研修環境であり、日々、成長を実感することができます。

高橋 克仁

PROFILE

出身地：大阪府
出身大学：富山大学（2021年卒）
宝物：経験
座右の銘：足るを知る・とりあえずやってみれば

濃密な経験と学びを得られる研修

専攻医一年目ですが、NICUでは挿管や中心静脈カテーテルなどの手技を実践経験し、妊娠24週目の帝王切開による未熟児の蘇生に立ち会うなど、非常に濃密な学びを得ています。小児科はいろんな科の集合体であり、進路が決まってない人にとっても最適な科だと思います。少しでも興味のある方、ぜひ一度見学にお越しください。

鳴尾 聡一郎

PROFILE

出身地：佐賀県
出身大学：北海道大学（2021年卒）
宝物：お金
座右の銘：まぁいいか

国立病院機構

長崎医療センター

住所 〒856-8562 長崎県大村市久原２丁目1001-1
WEB https://nagasaki-mc.hosp.go.jp

病床数 **643**床　診療科数 **38**科

長崎医療センターの特徴

大村湾を眺望できる長崎県中央、大村市の高台に位置し、高度医療提供の他、教育研修や臨床研究にも力を入れています。県下唯一のドクターヘリが配備され、救命救急医療、総合周産期母子医療、長崎県の地域がん診療拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院として重要な役割を果たしています。

国立病院機構

長良医療センター

呼吸器、小児、重症心身障害医療に強く キャリア形成の場としても優れた病院

長良医療センター 院長 **松久 卓**

3本柱の専門医療に加え 地域ニーズに応える医療も展開

当院は病床数401床（一般203床・重症心身障がい児（者）180床・結核18床）を有し、セーフティネット医療である筋ジストロフィーなどの「重症心身障がい児（者）医療」、結核・肺癌をはじめとする「呼吸器疾患」、さらに「小児医療」を３本柱として専門性の高い医療を提供しています。また、エイズ治療拠点病院としてエイズに関する総合的かつ高度な医療を提供していることも特徴です。「重症心身障がい児（者）医療」に対する医療体制の規模は大きく、筋ジストロフィーなど神経難病の診療にも積極的に対応しています。「呼吸器疾患」においては、京都大学からの派遣医師2名による呼吸器外科専門医の複数人体制により、肺がんに対する胸腔鏡下手術など高度な専門的手術も実施しています。地域の医療機関からの信頼は厚く、紹介患者さんは県内遠方からも多く訪れています。

さらに当院では、高齢化の進展による認知症やがん患者の増加といった地域の医療ニーズに応えるべく新たな取り組みも始めています。その１つの成果として、2023年１月にがんの終末期患者を対象とした「緩和ケア病棟（やすらぎ病棟）」を開設。多職種チームによる充実した緩和ケア医療を提供しており、がんだけではなく幅広い診療科で緩和ケアを提供できる体制を目指しています。

満足度の高い研修を提供 チームワークの強さも魅力

当院は初期臨床研修基幹病院であり、さらに4つの診療科（呼吸器内科・呼吸器外科・小児科・小児外科）が、県内外の内科・外科・小児科の専門研修プログラムの基幹病院の連携施設として専門医の育成に関わっています。3本柱である、「呼吸器疾患」・「小児医療」・「重症心身障がい児（者）医療」における専門的なスキルを学ぶことができ、さらに「臨床研究部」が設置されており、活発な臨床研究活動や学会発表が行われている環境のなか、アカデミックな力を習得できることも特徴です。

初期研修医は一学年3名と少人数制であり、一人ひとりに目が行き届く手厚いバックアップ体制のなか、安心して症例経験を積んでいただくことができます。

当院にはない診療科の研修は、朝日大学病院、岐阜病院、名古屋医療センター、岐阜市民病院、岐阜ハートセンターにて研修を行うなど、院外の医療も経験することができます。さらに小児科には他病院から研修に来ている医師も多くいるなど、院外医師との交流によって幅広い人脈形成ができることも魅力でしょう。

また、当院は中規模病院ということもあり、職員全員の“顔が見える”働きやすい病院です。医師もコメディカルも倫理観が高く、そして全員が使命感をもって働いておりチームワークの強さも特徴です。

そうした力が遺憾なく発揮されたのがCOVID-19への対応です。当院ではクルーズ船ダイヤモンドプリンセス号の感染患者の受け入れから始まり、現在まで1480名もの県内最多の感染患者を受け入れ、デルタ株流行時は1日最高48名の入院患者に対応しました。臨床力だけではなく、チーム医療の実践を通してマネジメント力を学べることも特徴であり、初期研修・専門研修共に、質の高い充実した研修を提供できる病院であると自負しています。

若手医師へのメッセージ

治療の答えは教科書のなかにあるのではなく、患者さんのなかにあります。患者さんとのコミュニケーションを大切に、患者さんが置かれた状況や、苦しみ、痛みを理解し、一人ひとりに最適な医療を提供できる医師になってほしいと思います。

当院は長良川の清流と豊かな緑に恵まれた環境にあり、岐阜城や金華山など岐阜の美しい町並みが一望できる風光明媚な場所にあります。勉強やキャリアアップにも最適な落ち着いた周辺環境も魅力でしょう。

当院では一人ひとりの目指すキャリアを病院全体でしっかりバックアップしていきます。興味のある方、ぜひ一緒に働きませんか。

PROFILE

出身地：岐阜県
出身大学：岡山大学（1985年卒）
宝物：職員たち
座右の銘：義を明らかにし利を計らず

国立病院機構
長良医療センター

住所 〒502-8558
岐阜県岐阜市長良 1300-7
WEB https://nagara.hosp.go.jp

病床数 **401**床　診療科数 **20**科

［診療科目］

内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、緩和ケア内科、小児科、神経小児科、外科、産婦人科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、脳神経外科、形成外科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、アレルギー科、精神科

長良医療センターのある街

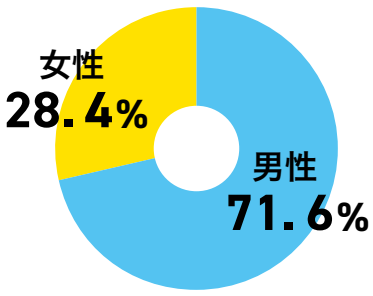
岐阜市は岐阜県の中南部に位置し、岐阜県の県庁所在地として、また岐阜県内で最も人口が多い都市であり、中核市に指定されている。玄関口であるJR岐阜駅周辺に並ぶ高層ビルと昭和の面影を残しながら新たな活気がみなぎる柳ケ瀬商店街、1300年以上の歴史を持つ鵜飼が行われる清流長良川、岐阜城を冠する自然豊かな金華山など、街と自然がバランスよく共存する。江戸時代には商工業の中心地として栄え、旧加納町は中山道の宿場町としても知られている。斎藤道三公・織田信長公・明智光秀公をはじめとする戦国武将ゆかりの街としても知られている。

RESEARCH

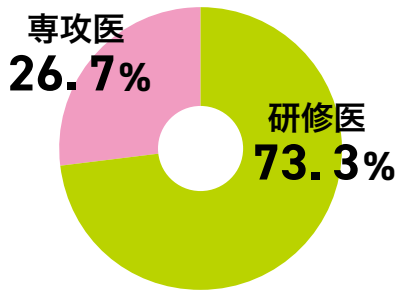
NHO × 専攻医・研修医アンケート

国立病院機構で働く専攻医・初期研修医 116 人に“医師の働き方改革”について聞きました

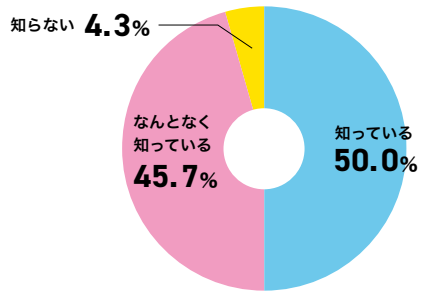
Q. あなたの性別は？



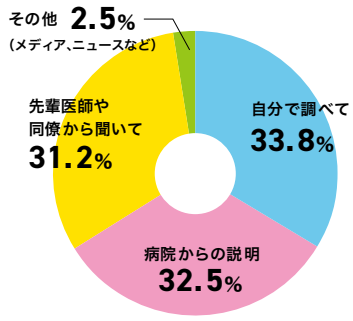
Q. あなたの身分は？



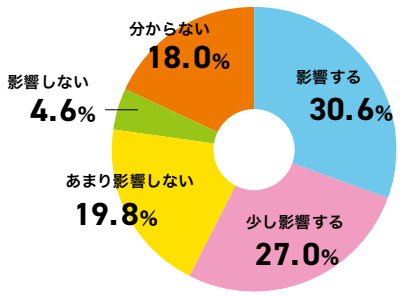
Q. 「働き方改革」の内容はご存じですか？



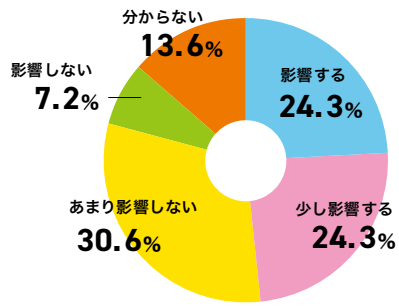
Q. 「働き方改革」の内容をどのようにして知りましたか？



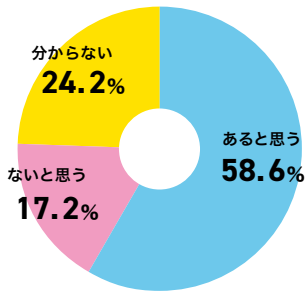
Q. 「働き方改革」はあなたの診療に影響すると思いますか？



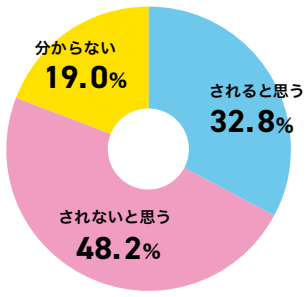
Q. 「働き方改革」はあなたの研修に影響すると思いますか？



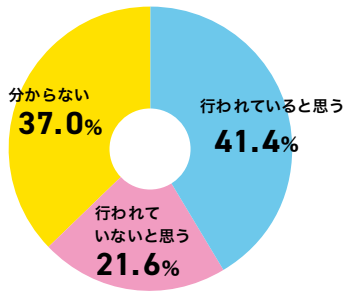
Q. 「働き方改革」で教育・指導体制に変化はあると思いますか？



Q. 「働き方改革」で時間外勤務は短縮されると思いますか？



Q. あなたの職場ではタスクシェア・タスクシフトは行われていますか？



Q. 「働き方改革」があなたの診療・研修に影響する内容・理由を教えてください

●研鑽を積む時間が少なくなり、能力向上が難しくなりそう。 ●初期･後期研修医は休みなく働くべき。働き方改革で学ぶ機会を失い、診察に当たるのは言語道断だと思う。 ●当直明けの勤務時間が守られやすくなる。 ●実労働時間が少なくなり、研鑽の時間が減るため、診療の質が低下する可能性がある。 ●患者数が減ったり、医師の数が増えるわけではないので、仕事の効率化が求められる。 ●時間外労働について制限が厳しくなり、いい意味では帰れる、悪い意味では残りたくても残れなくなる。 ●時間外の業務内容を明確にしないといけないので、業務の優先順位をつけないといけないと思います。 ●休みができる反面、学ぶ機会が限られる。 ●当直明け帰るのが必須になり、ローテ科の研修が物足りないことがある。 ●経験を積む機会が以前の働き方よりは減ることが予想されるから身体的な余裕がある程度担保されることで、体調のコントロールがしやすくなる。

Q. より良い研修にするため工夫していることがあれば教えてください

●積極的に研修･セミナー･手技等に参加する。 ●経験した症例の情報共有を行い、同期と切磋琢磨する。 ●予習、復習。 ●先輩医師からフィードバックをもらえるようにコミュニケーションを取っている。 ●自分が急なお休みになった時にも、同僚がカバーしやすいように、患者さんとご家族に十分な病状説明を行なっておく事、カルテ記載をきちんとする事を気をつけています。 ●電子カルテについて、マニュアルをみて自分なりに使いやすくカスタムしている。マニュアルを読めば誰も教えてくれないことも知ることができるし、その情報を指導医や同期に共有できる。 ●休む時はしっかり休んで、次回の仕事のモチベーションを上げる。 ●患者さんに寄り添った姿勢と周りのスタッフと気持ちよく仕事ができる関係づくりです。 ●興味を持って診療に臨む。

Q. 「働き方改革」に期待することは？

●自己研鑽という名のコスト削減の禁止。 ●医療の水準を保ちつつ、過労死する人が減ること。 ●タスクシェア、タスクシフトがしっかり行われ、QOL改善が行われること。 ●土日の回診を主治医ではなく代診医で行うような体制。 ●業務と自己研鑽が明確に分かれること。 ●十分な研修環境は残してほしい。 ●仕事とプライベートが確立されながらも、医療の質は落とさないような取り組みを、一人ひとりが目指す必要がある。 ●医師になってよかったと思える、自分のこどもに胸を張って素晴らしい仕事だと言えるような職場を期待しています。 ●見かけの労働時間の減少だけでなく、実際の労働時間が減少するような仕組みを作って欲しい。 ●仕事とプライベートをどちらも大切にできるようになること。

Pick Up TOPICS

2024年4月、いよいよスタート

“医師の働き方改革”とは？

2024年4月から『医師の働き方改革』がスタートします。これによって勤務医の働き方はどう変わるのでしょうか。医師として押さえておくべき『医師の働き方改革』の主な4つのポイントをわかりやすく解説していきます。

1. 時間外労働の上限規制

一般業種では年720時間ですが、医師の場合、医療の公共性や医療提供体制の確保、修練の必要性などを考慮し、**時間外・休日労働時間の上限は原則として「年960時間」・「月100時間未満」**に制限されます。

また、上限規制を一律に設定すると、一部の医療機関では医療サービスの維持ができなくなるため、病院の機能などに応じて上限設定を【A水準】・【B水準（連携B・B）】・【C水準（C－1・C－2）】の3水準に分類しています。

【A水準】は「年960時間」で、一般の勤務医に適用。

【B水準】は「年1,860時間」で、三次救急や大規模な二次救急医療機関、また医師の派遣を行うなど、地域医療確保のために重要となる医療機関が該当（医療機関内全ての医師ではなく、役割を果たすためにやむなく年960時間を超える医師に限定）。

【C水準】は「年1,860時間」で、高度な技能習得のために長時間修練する必要がある医師や研修医・専攻医が該当（病院全体ではなく研修プログラムごとの指定）。

月の時間外労働は、すべての水準で「100時間未満」となります。尚、B・C水準はあくまで暫定的措置であり、【B水準】は2035年度末に終了予定、【C水準】についても縮減する方針です。

2. 医師の健康確保措置の義務化

人命を預かるという医療の特性から、やむを得ず時間外・休日労働が**「月100時間」を超える場合には、『面接指導』**（健康状態の確認）のほか、医師の健康確保を確実なものとするため**『連続勤務時間制限28時間』・『勤務間インターバル（休息）9時間の確保』・『代償休息の付与』**（休息中、やむを得ない理由により業務に従事した場合には、当該労働時間分の休息を付与）といった措置を講じることが**義務化**されます。

これら休息時間の確保について、【A水準】は努力義務ですが、【B・C水準】については“法的義務”となります。

※下記の図表入る（**1**と**2**の内容をまとめた図表となります）

■ 時間外労働の上限規制と健康確保処置の適用（2024.4～） 法改正で対応

医療機関に適用する水準	年の上限時間	面接指導	休息時間の確保
A（一般労働者と同程度）	960時間	義務	努力義務
連携 B（医師を派遣する病院）	1860時間 ※2035年度末を目標に終了		義務
B（救急医療等）			
C-1（臨床・専門研修）	1,860時間		
C-2（高度技能の修得研修）			

医師の健康確保

面接指導
健康状態を医師がチェック

休息時間の確保
連続勤務時間制限と勤務間インターバル規制（または代償休息）

3. 労働時間の判断基準について

『研鑽』は労働時間に含まれるのか？

労働基準法が定める労働時間とは、“使用者の指揮命令下に置かれている時間”のことをいいます。医師の研鑽についても同様であり、たとえば次の場合は労働時間に該当します。「手技の練習」については、診療の準備、診療に伴う後処理として不可欠な場合。「症例研究や論文作成」については、不実施により就業規則上の制裁などが課され、実施を余儀なくされている場合や、業務上必須である場合、また業務上必須でなくとも上司が指示して行わせる場合。「手術の見学」については、見学中に診療を行った場合は当該診療を行った時間、また、見学中に診療を行うことが慣習化、常態化している場合は見学の時間すべてが労働時間に該当します。本人の自由意思に基づき、業務上必須ではない研鑽を、所定労働時間外において上司の指示なく行う時間は労働時間に該当しません。

『宿直』は労働時間に含まれるのか？

医療機関が労働基準監督署による「宿日直許可」を受けている場合は、その宿日直に携わる時間は労働時間に含まれません。「宿日直許可」の基準としては、夜間に十分な睡眠がとり得るものや救急患者の診療が稀であるなど、いわゆる“寝当直”にあたるような業務となります。「宿日直許可」を受けている場合は、宿日直を休息時間として取り扱うことができ、勤務医は時間外労働の通算時間を抑えられるため副業での宿日直がしやすくなります。

『副業・兼業』の労働時間について

時間外労働の上限規制は、副業・兼業先での労働時間も合算されて適用されます。副業・兼業先の労働時間は原則、常勤先の医療機関が管理します。2024年4月以降、勤務医が副業・兼業する際は、対象となる医療機関の「宿日直許可」取得の有無を確認し、常勤先に自己申告する必要があります。

4. タスク・シフト／シェアの推進ついて

『医師の働き方改革』の一環として、医師の負担軽減や長時間労働を削減に向けた**タスク・シフト（業務移管）**や**タスク・シェア（業務の共同化）**といった取り組みも始まっています。2021年10月の法改正により、**診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技師、救命救急士の業務範囲が拡大**され、また、38の医療行為を実施できる**「特定行為看護師」を配置**する施策も2015年から実施されています。その他、医師事務作業補助者や院内薬剤師の配置、宿日直体制や手術管理の見直し、複数主治医制（チーム制）の導入といったタスク・シフト／シェアなども推進されています。

まとめ

『医師の働き方改革』によって、医師は必要とされる休息や睡眠、自分で自由に差配できる時間が確保され、患者さんにとっても医師の健康が保たれることで、より安全で質の高い医療を享受できるようになるなど、双方にとって大きなメリットをもたらしてくれます。『医師の働き方改革』をスムーズに進めるためには、勤務医自身も働き方改革について深く理解し、強い関心を持って意識的に実践していくことが非常に大切となります。

施行前に改めて『医師の働き方改革』の内容を理解しておきましょう。

『医師の働き方改革』について詳しくはコチラ【厚生労働省 医師の働き方改革】▶▶▶

REPORT

“ 若手医師フォーラム ”

第77回国立病院総合医学会が2023年10月20日（金）、21日（土）にリーガロイヤルホテル広島にて開催されました。今回の大会テーマは「未来に向かって～日本の医療を支える国立病院機構～」。多彩な講演やシンポジウムが行われた中、若手医師を対象とした「若手医師フォーラム」が開催され、各自が取り組んできた症例や研究について発表する貴重な機会となりました。今回、多数の応募の中から口演発表で最優秀賞に輝いたお二人の先生に話を伺いました。なお、最優秀賞の先生には副賞として国際学会への参加費用が補助されます。

口演発表「症例報告部門」最優秀賞 × Dr. Ai Higuchi

RUNX1::RUNX1T1 acute myeloid leukemia cytogenetically showing t(6;8)(p23;q22).

埼玉病院 初期臨床研修医 **樋口 藍**

［ 指導医 ］ 血液・膠原病内科部長 **入山 規良**

応募のきっかけは？

研修先の先生から勧められ、英語での学会発表は経験がなく、少し躊躇いもありましたが挑戦できるのは良い機会になると思い応募しました。

口演のテーマとポイントは？

均衡型三方向染色体転座t(6;21;8)(p25;q22;q22)を有するRUNX1::RUNX1T1急性骨髄性白血病を報告させていただきました。この症例は私が血液内科ローテート中に診させていただいた患者さんでした。染色体検査（G分染法）と融合遺伝子（PCR法）の結果に乖離を認めたため、FISH法を用いて詳細な転座パターンを探索し、稀有な均衡型三方向転座を特定しました。急性骨髄性白血病の正確な病型診断には多面的な検査が不可欠であることを示した症例であったため、発表しました。

特に苦労したことは？

英語での質疑応答対策です。質疑応答はその場での対応力も求められるため、指導医や同僚と質疑応答の練習を重ね本番を迎えました。

発表を振り返って、感想は？

想定していない質問を受け、戸惑いもありましたが自分の答えられることを自分の言葉で伝えようという意識でお答えしました。

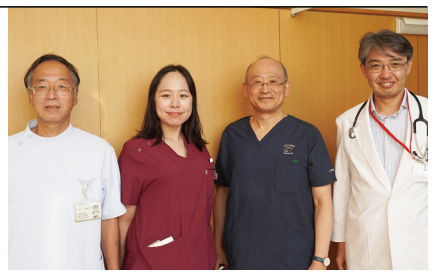
参加を考える方へメッセージを

英語での発表やコンペ形式に最初は躊躇してしまう方もいるかと思いますが、いざ挑戦してみるととても貴重な良い経験となりました。少しでも興味のある方は是非チャレンジしてみてください。

将来の夢、今後の予定は？

私の理想の医師像は患者さんとそのご家族の気持ちに寄り添い、患者さんの安心できる医師です。患者さんとの対話を大切にしながら、患者さんにとって最善の医療を追求するべく、研究にも携わっていきたいと考えています。

口演発表「臨床研究部門」最優秀賞 × Dr. Atsuko Tsujii



Parsing pathology of rheumatoid vasculitis via single-cell spatial transcriptome analysis

大阪南医療センター リウマチ・膠原病科 **辻井 敦子**

［ 指導医 ］ リウマチ・膠原病科 部長 **大島至郎** / 免疫異常疾患研究室長 **高松 漂太** / 病理診断科 医長 **星田 義彦**

応募のきっかけは？

部長の大島先生に、是非いい機会になるからと発表を勧めていただきました。

口演のテーマとポイントは？

シングルセル空間トランスクリプトーム解析を用いて、皮膚の血管炎の病態解析を目標としました。病態を理解する上で、どのような細胞が病態を引き起こしているかを考えることは重要だと思います。当研究では、病理組織をもちいて空間トランスクリプトーム解析を行うことで、疾患特異的な細胞がそれぞれの場所でどのような役割を果たすかを明らかにしたいと考えました。最新のシングルセル空間トランスクリプトーム解析のプラットフォームであるNanostring社のCosmxをもちいて、解析を行いました。

特に苦労したことは？

7分という制限時間内に研究内容をわかりやすく発表すること、がとても大変でした。様々な分野の先生が聞きに来られるため、臨床において困っていることや治療内容なども含めわかりやすく内容を伝えることに注力しました。

発表を振り返って、感想は？

質疑応答は緊張しましたが、自分の伝えたかったことを何とか答えました。

他の発表者のプレゼンの感想は？

同世代の先生方ががんばっているのをみて、非常に刺激を受けました。発音の仕方、スライドの作り方、臨床研究の着眼点など、それぞれの発表から、たくさんのことを学ばせていただきました。

将来の夢、今後の予定は？

常に、患者さんの立場に立つことを忘れずに、臨床のデータや検体を用いた研究をしていきたいです。厳しい世界だと思いますが、未来の治療に役立てるような研究を行いたいです。

BACK NUMBER × バックナンバー

過去の「NHO NEW WAVE」がWEBサイトから閲覧できます！

https://nho.hosp.go.jp/education/education_nho.html

NHO ニューウェーブ 検索

NHO facebook & 𝕏 本部公式アカウント

facebook https://www.facebook.com/nho.headoffice

𝕏 https://twitter.com/nho_headoffice

本部のSNSで発信したい情報があれば広報係までご相談ください！